

## 編集後記

猛暑到来!と思ったら、自民党圧勝の参議院選挙終了を境に東京では比較的涼しい夏。

世の中の流れが加速している21世紀では、季節の移り変わりも早くなってしまったのかと思うと、これが例年の夏の暑さとのこと。異常を経験すると普通を普通と感じなくなってしまう人間の感性の恐ろしさに改めて用心、用心!

さて、今月号は「リニューアル」について特集しました。

特集テーマを決める際には「少し古めかしくなった言葉?」との印象がありました。 「循環型社会への転換」が求められている中では重要な建設技術の一つであり、多くの分野で新技術が開発されていることを再認識できました。

その中から、今回は横軸に「リニューアル」を、縦軸には「ダム」、「トンネル」、「老朽管」、「橋梁」、「建物」を組合せた一般報文5編と、リニューアルに直結するメンテナンスというキーワードから「首都高速道路における高架道路の点検車両の改良」に関する一般報文1編を掲載しています。

報文に共通しているのが、「リニューアル」には避けて通れない「環境との調和」です。

既存建造物は、周囲に完全に溶け込んでおり、利用する人間もいれば、自然とも調和がとれた状態になっており、そのバランスを崩さずに、いかに外科的手術(工事)を施行するかに「リニューアル」の難しさがあり、新技術を駆使しながら配

慮されているのがよくわかります。

小泉内閣の2002年度予算では、従来型の公共事業予算を削減し、重点7分野への予算集中配分の方針。予算が集中配分される重点7分野の一つには「都市再生」が挙げられています。

今回掲載したような建設技術が「都市再生」を支える基盤技術であり、重要な役割をはたしてくれるものと期待すると同時に、新たな技術を生み出す挑戦を続けることが業界発展につながっていくものと確信しています。

最後になりましたが、この暑い中、ご寄稿いただいた執筆者の方々をはじめ関係者に対し、厚く御礼申し上げます。

(門田・矢嶋・矢仲)

No.619

「建設の機械化」

2001年9月号

〔定価〕1部 840円(本体800円)  
年間9,000円(前金)

平成13年9月20日印刷 平成13年9月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 玉光弘明

印刷人 山田純一

発行所 社団法人日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話(03)3433-1501;FAX(03)3432-0289;http://www.jcmanet.or.jp/

建設機械化研究所 〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154 (吉原郵便局区内)

電話(0545)35-0212

北海道支 部 〒060-0003 札幌市中央区北三條西 2-8 さつげんビル内

電話(011)231-4428

東北支 部 〒980-0802 仙台市青葉区二日町 16-1 二日町東急ビル

電話(022)222-3915

北陸支 部 〒951-8131 新潟市白山浦 1-614-5 白山ビル内

電話(025)232-0160

中部支 部 〒460-0008 名古屋市中区栄 4-3-26 昭和ビル内

電話(052)241-2394

関西支 部 〒540-0012 大阪市中央区谷町 1-3-27 大手前建設会館内

電話(06)6941-8845

中国支 部 〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22 築地ビル内

電話(082)221-6841

四国支 部 〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22 建設クリエイティブビル内

電話(087)821-8074

九州支 部 〒810-0041 福岡市中央区大名 1-12-56 八重洲天神ビル内

電話(092)741-9380

印刷所 株式会社技報堂 東京都港区赤坂 1-3-6